

各大会におけるコーチライセンスの適用基準について (2019年度～) 【新旧比較版】

<p><表の見方> 黒字：現行（2018年度基準） 赤字：今回の変更点 ※今回承認いただきたい変更点</p>	<p><主な変更点> ▶ E-2級・E-1級の表記は「E-2級またはE級」、「E-1級またはE級」に変更 ▶ U15選手権を追加 ▶ 国体については、国体開催基準要項の改定に伴い、5月末までに登録済み必須であることを追記 ▶ コーチの新規・昇格は年間を通して随時可能となることから、特別措置の①を削除</p>
--	--

各大会においてベンチで指揮をとる(スコアシートにサインする)コーチは必要資格を保有していることとする。

2019年3月7日

カテゴリー	サブカテゴリー	大会名	全国レベル	ブロックレベル	都道府県レベル	地区レベル
—	—	天皇杯・皇后杯 全日本選手権大会	D級 (都道府県代表決定戦～ファイナルラウンドまで共通)			
	—	国民体育大会	C級(*1)(*4)	C級(*1)(*4)		
B.LEAGUE	—	B1リーグ	HC：S級(*1) AC：B級(*1)			
	—	B2リーグ	HC：A級(*1) AC：B級(*1)			
	—	B3リーグ	HC：B級(*1) AC：C級(*1)			
WJBL	—	Wリーグ	HC：S級(*1) AC：B級(*1)			
一般	社会人	全日本社会人地域リーグ (チャンピオンシップ)	C級	C級		
		全日本社会人選手権大会	D級	D級	E-1級→E-1級またはE級	
		全日本社会人O-40/O-50選手権大会	D級	D級	E-1級→E-1級またはE級	
		日本社会人レディース交流大会 (東地域・中地域・西地域)	E-1級→E-1級またはE級		E-1級→E-1級またはE級	
		都道府県リーグ			E-1級→E-1級またはE級	E-2級またはE級
	—	日本スポーツマスターズ	C級(*1)			
	教員	全日本教員大会	C級	記載削除 (大会の改編による)		
	大学	全日本大学選手権大会(インカレ)	C級	C級(*2)		
		(上記以外の大会)	C級	(*3)	(*3)	
	専門学校	全国専門学校選手権大会	E-2級→E-2級またはE級	E-2級→E-2級またはE級	E-2級→E-2級またはE級	
(上記以外の大会)		E-2級→E-2級またはE級	E-2級→E-2級またはE級	E-2級→E-2級またはE級	E-2級→E-2級またはE級	
U18	高校	全国高等学校選手権大会 (ウインターカップ)	D級		D級(*3)	(*3)
		全国高等学校総合体育大会 (インターハイ)	(*3)		(*3)	(*3)
		全国高等学校定時制通信制大会	(*3)	(*3)	(*3)	
	高等専門	全国高等専門学校体育大会	C級	(*3)		
	—	都道府県リーグ			E-2級→E-2級またはE級	E-2級またはE級
—	(上記以外の大会)		(*3)	(*3)	(*3)	
U15	—	都道府県対抗ジュニア大会 (ジュニアオールスター)	C級	記載削除 (大会の改編による)		
		全国U15選手権大会	D級		D級	D級(*3)
		全国中学校大会	(*3)	(*3)	(*3)	(*3)
		都道府県リーグ			E-2級→E-2級またはE級	E-2級またはE級
		(上記以外の大会)		(*3)	(*3)	(*3)
U12	—	全国ミニ大会	D級(*1)		E-2級→E-2級またはE級	E-2級→E-2級またはE級
		ブロック大会		E-1級またはE級	(*3)	(*3)
		都道府県リーグ			E-2級→E-2級またはE級	E-2級またはE級
		(上記以外の大会)		E-1級またはE級	(*3)	(*3)

(斜線は該当大会がないことを意味している。)

- 【特別措置】 ④ 受講修了者(当該ライセンスの講習会を受講し、修了している場合)は認める。→廃止 (登録手続き方法の変更により、考慮不要となるため)
 ② 指導実績1年目に限り免除とする。

- 【備考】 (*1) 特別措置なし
 (*2) 全国大会に通じるレベル
 (*3) ライセンスを取得していることが望ましい
 (*4) 国民体育大会開催基準要項に基づき、5月末までに登録済みであることが必須